

育成モノづくり人材

Vol. 31

埼玉県立大宮工業高校

埼玉県立大宮工業高校は、2015年度から機械科、電子機械科、電気科、建築科の4学科で構成する。創設91年目を迎える同校



宮原校長

は、2015年度から教育委員会の指定を3年間受けて「未来を拓く学校づくり推進事業」に取り組んでい「在学中から仕事を体験すること」が大切

企業・地域と「協働教育」

「教育」をテーマに、モノづくり人材の育成を推進する。企業連携事業ではさいたま商工会議所と協力し、会員企業などから市内の製造業を中心にモノづくり企業で就労するインターン

【DATA】▷校長=宮原浩氏▷所在地=さいたま市大宮区▷学科構成=機械科、電子機械科、電気科、建築科▷生徒総数=809人▷主要設備=マシニングセンター、溶接機、CAD、コンピューターなど▷主な進路=トヨタ自動車、三菱電機、ホンダ、JR東日本、キャノン、日本工業大学、東京電機大学など

を作ることに... 考える機会を... 最近の生徒のコミュニケーション能力



が低下していることも... 138人が市内の企業... 企業が持つ責... 工業製品の

学校に通う目的意識を高めるためにも就業体験を入れる

とも強みにしながら、将来の生徒に工業高校の魅力を伝える活動に力を入れる。

生徒の資格取得を支援する事業にも積極的だ。職業能力開発協会の「ものづくりマイスター」技能指導... 難易度の高い資格取得のために熟練技術者が学校に訪問して生徒を指導する。高い技術力を追求する生徒の成長を今後も精力的に支援する方針だ。

（さいたま・山越 晃）
（金曜日に掲載）